

学校の教育目標

<ul style="list-style-type: none"> ・健康で 明るい子ども ・礼儀正しく 思いやりのある子ども ・よく考え すすんでものごとに取り組む子
--

学校経営方針（確かな学力向上にかかわる内容）

<p>各教科・領域において、基礎的・基本的な学力や望ましい学習態度を確実に身に付けさせ、生涯にわたって学び続けるための学習素地を育成する。</p>

確かな学力向上に向けた具体的な取組

<p>基礎的・基本的な知識・技能の習得</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝学習において全校読書を行ったり、国語や算数の復習を中心とした時間を設けたりして、基礎・基本の徹底を図る。 ・漢字検定（3年生以上の希望者）に取り組み、語彙を豊かにし、さらなる言語能力向上を目指す。 ・第3学年～第6学年では算数において、その学年における学習状況や実態に応じて習熟度別指導を実施する。 ・体育の研究を通して、運動の基本的な動きを身に付けさせるとともに、友だちとの関わり合いを大切にしたい体育学習を行う。
<p>思考力・判断力・表現力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科において、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、思考力、判断力、表現力の育成に努める。習得、活用、探究の学習の流れを重視し、体験を多く取り入れた問題解決型の学習を展開する。
<p>主体的な学習態度の育成、学習への意欲</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画に基づき、体験的・問題解決的な活動を行い、学び方やものの考え方、表現する力を身に付け、課題を探究する態度の育成を図る。

「学習力サポートテスト」「学力向上を図るための調査」「全国学力・学習状況調査」及び1学期の学習状況の成果と課題 ○結果分析から明らかになった成果 ▲結果分析から明らかになった課題

	第4学年	第5学年	第6学年
国語	<p>○読書量が多いことで、読む力の向上につながったと感じる。</p> <p>▲書く力に課題がある。文章を構成して書くことの力に課題が見られる。</p> <p>▲一部語彙力の定着に差が見られる。</p>	<p>○意欲的に学習に取り組もうとする姿が見られる。</p> <p>▲漢字の習熟に個人差が大きく見られる。</p> <p>▲要旨を捉えることが苦手な児童がいる。</p>	<p>○音読や漢字練習に意欲的に取り組み、字も丁寧に書く児童が多い。</p> <p>○要旨をとらえて読む力が付いている児童が多く、ワークテストでは8割以上の児童が到達している。</p> <p>▲話す・聞く活動では、一定の時間内で話題にあった会話を続けることや、メモをきちんと取ることに課題が見られる。</p> <p>▲自分の経験と関係づけながら詳しく書いたり、伝えたいことを自分の言葉でまとめて書いたりすることに課題が見られる。</p>
	<p>「学習力サポートテスト」</p> <p>○全国の平均正答率を9ポイント上回り、特に、「読む能力」についての正答率が高い。</p> <p>▲ローマ字のつづりを理解している児童が6割程度と、全国の平均正答率と同率であり、課題である。</p> <p>▲「与えられた情報を読み取り、</p>	<p>「学力向上を図るための調査」</p> <p>○都の正答率を8ポイント上回り、特に「教科の内容」に関しては、10ポイント上回っている。</p> <p>▲A層は55%であるが、B層10%、C層24%、D層11%と、下位層に3分の1の児童がおり、学力差が見られる。</p>	<p>「学習力サポートテスト」</p> <p>○全国の平均正答率を6ポイント上回り、特に、「読む能力」についての正答率が高い。</p> <p>○文章の内容や情報を的確に読み取ることができている。</p> <p>▲5年配当漢字の習得に課題のある児童がいる。</p> <p>▲「同訓異字の使い分け」に課題</p>

	聞き手に具体的な情報を伝える説明をすること」の点においてやや課題が見られる。		がある。 ▲「与えられた情報を読み取り、適切な内容を補って文章を書くこと」に課題がある。
算 数	○意欲的に取り組んでいる児童が多く見られる。 ▲知識としての理解度は高いが、技能面の定着に課題見られる。	○ワークテストは8割以上の児童に既習事項の定着が見られる。 ▲小数のわり算に課題が見られる児童が多い。 ▲文章題の立式に課題が見られる。	「全国学力・学習状況調査」 ○国語Aは全国平均正答率を9ポイント上回り、8割を超え、国語Bは14ポイント上回り、7割の正答率である。 ▲手紙の攻勢を理解し、後付けをかく問題について、全国の正答率を上回っているが、正答率が4割程度と課題がある。
	「学習力サポートテスト」 ○全国の平均正答率を9ポイント上回り、基本的な計算については、ほとんどの児童が定着している。 ▲わり算の計算において、あまりを切り上げて処理する問題に課題が見られる。 ▲記述式の問題を苦手とする児童が一部見られる。	「学力向上を図るための調査」 ○都の正答率を11ポイント上回っている。 ▲十進位取り記数法の理解、数量関係を捉える内容に課題がある。 ▲問題の解釈、推論する力が弱い。	「学習力サポートテスト」 ○全国の平均正答率を4ポイント上回り、「数量関係」の領域では、11ポイントも上回っている。基本的な計算については、ほとんどの児童が定着している。 ▲「分数と小数の大小比較」が4割弱の正答率で課題がある。 ▲「円の半径と円周との関係」が全国正答率より8ポイント下回り、課題である。
社 会	○関心意欲は高い。 ▲資料を読み取ることができるが、複数の資料をもとに複合的に考えることに関して課題が見られる。	○関心・意欲が高く、資料からたくさん読むことができる。 ▲基礎・基本を活用し自分の考えを文章化することに課題が見られる。	「全国学力・学習状況調査」 ○算数Aは全国平均正答率9ポイント上回り、9割近く、算数Bは13ポイント上回り、6割近くの正答率である。 ▲算数Aでは、無解答率が全国の率より、上回っている問題が半数あり、課題である。 ▲商を分数で表す問題が、全国の正答率は上回っているものの、7割の正答率であり、課題がある。 ▲割合の問題に課題が見られる。
			○資料やグラフから、社会的事象をとらえることができている。 ○社会に対して参画意識をもてる児童が多い。 ▲資料の読み取りから、何が分かるのかを表現する力に課題が見られる。

	<p>「学習力サポートテスト」 ○全国の平均正答率を5ポイント上回り、基礎・基本は定着している。 ▲方位磁針の理解に課題が見られる。 ▲資料を読み取って表現することに課題が見られる。</p>	<p>「学力向上を図るための調査」 ○都の正答率を5ポイント上回っている。 ▲「比較・関連付けて読み取る力」「解釈・推論して解決する力」の正答率が5割程度で、課題が見られる。</p>	<p>「学習力サポートテスト」 ○全国の平均正答率を3ポイント上回っている。 ○「世界の中の国土」や「日本の国土と人々の暮らし」では高得点を獲得している。知識・理解がしっかりとできていると思われる。 ▲「日本の食料生産」や「自動車をつくる工業」での値が低い。トレーサビリティや環境に配慮した製造など、そこで働く人々の工夫について、認識が不十分であったといえる。</p>
理科	<p>○関心意欲は高い傾向にある。 ▲考察を苦手としている児童が多い。 ▲実体験不足により、知識・理解の定着に課題が見られる。</p>	<p>○全体的に関心・意欲が高い。 ○実験や観察に意欲的に取り組むことができた。 ▲予想と結果を関連させて書くことが苦手な児童が見られる。</p>	<p>○実験結果をノートにまとめたり、観察結果を正確に丁寧に書いたりすることに昨年度から改善が見られる。 ▲自分の身の回りの経験から予想を立てることに課題がある。また、実験結果と予想とを関連づけて、数値を交えて考察することにも課題が見られる。</p>
	<p>「学習力サポートテスト」 ○全国の平均正答率とほぼ同率である。 ▲「温度計の使い方」「植物や昆虫の育ち方」「ゴムのはたらき」の理解に課題が見られる。</p>	<p>「学力向上を図るための調査」 ○都の正答率を4ポイント上回り、特に「思考・判断・表現」の正答率が高い。 ▲観察の結果と予想とを比較・関連付けて考えることができるかを見ることに課題が見られる。</p>	<p>「学習力サポートテスト」 ○「物のとけ方」「電流のはたらき」など、物理的、化学的な分野での習熟度が高い。 ▲全国の平均正答率を4ポイント下回っている。 ▲「植物の発芽と成長」「魚の誕生」など、生物分野で全国平均を下回っている。</p>
調査以外の教科についての成果(○)と課題(▲)	<p><音楽></p> <ul style="list-style-type: none"> ○音楽に関心をもち、楽しみながら進んで活動することができる児童が多い。 ○音楽的なよさや美しさを感じ取り、音楽表現を工夫することができる。 ○技能の習得に進んで取り組み、身に付けることができる児童が多い。 ○聴く観点を意識して、曲想などを感じ取りながら聴くことができる。 ▲音符や休符の名称など、前学年の学習が身につけていない児童がいる。 ▲表現の仕方について、深める力がやや弱い。 ▲基本的な技能が身につけていないために、創意工夫が実現できない児童がいる。 ▲苦手意識をもっている児童の中には、丁寧な個別指導の必要な児童がいる。 <p><図画工作></p> <ul style="list-style-type: none"> ○作品の製作や鑑賞など進んで意欲的に活動している。 ○形や色、材料などを生かしながらどのように表すか考えて豊かに発想している。 ○材料や用具を適切に扱い、表したいことにあわせて工夫して表している。 ○自分やお互いの作品のよさや面白さを感じ取ったり、考えたりできる。 ▲製作の時間に個人差が大きい。 ▲他者を意識しすぎ、創造的につくることができない児童がいる。 <p><家庭></p> <ul style="list-style-type: none"> ○調理実習や作品作りの関心・意欲は高い。 ○グループで協力して活動する楽しさを実感している。 ▲裁縫の技能に個人差がある。 ▲知識・理解として学んだことを日常生活に生かしていくことに課題がある。 <p><体育/保健体育></p> <ul style="list-style-type: none"> ○体育を好む児童は多く、意欲的に取り組んでいる。 ○運動会の表現では、友達を意識しながら列を揃えたり、動きを合わせたりすることができた。 ○マット運動の研究授業を通して、教員の指導技術の向上ができたと同時に、児童の技能の大幅な向上が見られた。 		

	<p>○運動会の表現では、ステップを細かく分けた検定カードを用いるなどして、できていく喜びを感じながら、意欲的に取り組むことができた。また、友達同士で教え合う姿も見られた。</p> <p>▲運動能力や思考に個人差がある。</p> <p>▲ボールを投げる活動に大きな課題がある。</p> <p>▲チームワークにおける思考判断に課題が見られる。</p>
調査以外の学年について 1学期の学習における成果(○)と課題(▲)	<p>第1学年</p> <p>〈国語〉</p> <p>○9割の児童がひらがな50音を習得し、整った文字が書けるようになった。</p> <p>○堂々と発表することはできる。</p> <p>○読書が好きな児童が多い。</p> <p>○語句のまとまりに気を付けて音読ができるようになった。</p> <p>○学級全体での話し合いは、活発にできる。</p> <p>○児童主体の話し合い活動が徐々にできるようになっている。</p> <p>▲発表はできて、声の大きさが適当で無い児童が一部見られる。</p> <p>〈算数〉</p> <p>○たし算、引き算の計算の定着ができています。</p> <p>○たし算、引き算の問題作りに、意欲的に取り組み、「あわせて・みんなで・ちがいは」などの言葉を正しく使うことができた。</p> <p>▲ブロック操作や問題解決学習に取り組む際、個人差が大きく支援を要する児童への十分な支援ができなかった。</p> <p>〈生活科〉</p> <p>○アサガオを育てることで、責任感や思いやりの気持ちが身に付いてきた。</p> <p>○観察カードをまとめることで、自然に関心をもち、継続的に観察しようとする態度が身に付いた。</p>
	<p>第2学年</p> <p>〈国語〉</p> <p>○多くの児童が学習に対して、意欲的に取り組んでいる。</p> <p>○初めて読む文章も、前後の関係を考えながら読むことができています。</p> <p>▲大事なことを落とさず話したり聞いたりすることに課題がある。</p> <p>▲主語・述語や、「はじめ 中 おわり」などの文章の構成力が身に付いていない。</p> <p>▲漢字の習得と活用に課題がある。</p> <p>〈算数〉</p> <p>○多くの児童が関心・意欲が高く、新たな学習に対して前向きに取り組んでいる。</p> <p>▲基礎・基本の定着に課題がある。</p> <p>▲知識先行型で形式的な解き方はできるが、既習事項を活用し考えることに課題が見られる。</p> <p>〈生活科〉</p> <p>○子どもゆうびんきょくの学習では、意欲的に活動していた。</p>
	<p>第3学年</p> <p>〈国語〉</p> <p>○漢字練習や漢字小テストにより、漢字学習の定着が図れた。</p> <p>○ワークシート等の活用により、物語等の読み取る力がのびた。</p> <p>▲段落のまとまりを考えて書くことの定着が図れていない。</p> <p>〈算数〉</p> <p>○自分に合ったコースを選び、学習が進められるようになり、少人数指導の効果が表れている。</p> <p>〈社会〉</p> <p>○見学等を行うことにより、地域に興味をもつことができた。</p> <p>▲調べてきたことを一般化したり、考えたりすることが苦手な児童が多い。</p> <p>〈理科〉</p> <p>○意欲的に学習を進めることができた。</p> <p>▲実験・考察する活動において、科学的思考に苦手とする児童が一部見られる。</p>

<p>昨年度の授業改善プランに基づく結果(○)と主な課題(▲)</p>	
<p>○話し合う目的を明確にした授業を行うことで、思考を広げたり、深めたりすることができた。</p> <p>○語彙を増やそうと、漢字練習に取り組む児童がふえ、「漢字検定」においても受検者の90%以上が合格した。</p> <p>○朝読書が定着している。また、「佃島おすすめの本100冊」に積極的に取り組む児童が増えている。</p> <p>○めあてを明確にすることで、自ら考え、活動をする児童が増えた。また、友だちとの学び合いをする姿が多く見られるようになった。</p> <p>○個に応じた指導により、基礎的な学力の定着が図られた。</p> <p>○一人一人の課題が明確になり、つまずきに丁寧に対応することができ、意欲的に学習に取り組む児童が増えている。</p> <p>▲児童数の増加のため、少人数体制がとれないことが課題である。</p>	



<p>改善の方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学習力サポートテスト、都学力調査、全国学力学習状況調査の結果を受けて、課題解決のために、重点化するポイントを各教科主任から示し、主任がリードしながら、指導法の工夫を行う。形式的評価を重視し、指導内容の理解度を常に計りながら、次の指導に生かす。 ○各教科等で身に付けさせたい力を明確化し、児童が言語活動を通して課題解決することができるよう指導を進める。 ○国語では、「聞く・話す」「書く」「読む」能力を高める指導法の工夫に取り組む。 ○算数では、習熟度別指導を充実するため計画を見直し、更に個に応じた指導の充実を図る。 また、東京ベーシックドリルの診断テストを活用し、個々の学習状況を把握し、指導に当たる。 ○社会では、社会的事象の意味について考える活動や資料を読み取る活動を意図的に組み入れ、思考力・判断力を育成する授業を展開していくようにする。 ○理科では、動植物の飼育・栽培など、実体験を通して理解を深める。また、問題解決学習を行い、科学的思考・観察力を育成していく。 ○体育では、校内研究を生かし、運動の楽しさを味わわせる学習を行っていく。また、スポーツテストの結果から、投力に課題があるので、学習活動に意図的に組み込んでいくようにする。
<p>【本校の授業改善に向けた具体的な方策】</p>	
<p>改善のための指導計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○言語活動の充実を図るため、全教育活動の中で工夫して取り入れる。 ○日常的に国語辞典を活用し、語彙を増やす。 ○「話す・聞く」場面を意図的に設定し、力を付けるためのスピーチ、対話を充実させる。 ○国語では、「読む」力を付けるために、朝読書を行い、音読や群読を取り入れる。また、漢字検定にむけて朝学習を利用し、漢字練習を行う。 ○社会では、基本的知識を身に付けさせるために、小テストや資料を活用した調べを行い、評価をしていく。 ○算数では、習熟度別指導を基本とし、単元の内容を考慮しながら、児童に合った指導計画を考える。 ○理科学習に必要な基本的用語の定着のため、理科室等の掲示を充実させるなど環境を整える。また、問題解決学習の形が定着できるようモデルを作成する。 ○体育では、単元並びに1時間の学習の流れを共通理解するとともに、小集団での学び合いを取り入れながら、技能面の向上を目指す。
<p>改善する指導内容 (教科、領域、観点等)</p>	<p style="text-align: center;">改善のための指導方法、指導体制</p> <p>○：学校全体として取り組む項目 △：教員個々に取り組む項目</p>
<p>基礎・基本の定着</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○教師のモデルも示す。 ○各教科において、主体的に考える力をつけるための指導を行う。 ○漢字の10問テストや算数のレディネステストを活用し定着を図る。 〈国語〉 ○昨年までの校内研究を生かし、「聞く・話す」「書く」「読む」能力を高める指導法の工夫に取り組む。 ○漢字、文章の読み取り方、話す・聞くなど基礎力の指導を丁寧に、繰り返し行う。 △ひらがら50音、カタカナ、漢字の習得や音読や詩の暗唱など、基礎学力の定着を確実にを行うため、毎学期検定を行う。 △漢字、文章の読み取り方、話す・聞くなど基礎力の指導を丁寧に、繰り返し行う。 △一人学習、ペア学習、グループ学習などを通して言語活動の充実を図る。 △漢字や文章の読み取りなどを丁寧に繰り返し指導する。 〈社会〉 ○社会的事象の意味について考える活動を意図的に組み入れ、思考力・判断力を育成する授業を展開していくようにする。 〈算数〉 ○習熟度別指導を充実するため計画を見直し、更に個に応じた指導の充実を図る。 △問題解決学習を重視し、単元計画を立てる、考える時間の確保等を行い、少人数指導の充実を図る。 △問題解決的学習の流れを大切にし、児童の考える時間を十分に確保していく。また、児童の実態に基づいたクラス分けをし、少人数指導を充実させる。 △ノート指導を充実させ、めあてとまとめを意識させる。 △授業感想を取り入れ、理解度を見る。

	<p>△問題解決学習において、集団検討で、自分の考えと他者の考えを統合して学習をまとめていくという流れを定着させる。</p> <p>△問題解決学習を行う際には、自分の考えを書かせ、ペア、あるいはグループで共有する時間を設ける。また、友だちの考えとの共通点、相違点を明らかにして、本時の学習を自分の力でまとめるような授業を行う。</p> <p>△プリントなどで、繰り返し学習をする。</p> <p>△個別の時間を取って、基礎の問題の練習をくり返していく。</p> <p>〈理科〉</p> <p>○理科学習に必要な基本的用語の定着のため、理科室等の掲示を充実させるなど環境を整える。</p>
<p>国語「書くこと」</p>	<p>△ノート指導に丁寧に取り組んだり、行事ごとの日記や本の紹介などで、表記方法を確実に指導したりして、書く力の育成を図る。</p> <p>△書き方の例示を見せて、書き方の基本を身に付けさせる。書いた文を読み返して見直すことを丁寧にさせる。日記を書かせることで、「書く」経験をたくさん積ませる。</p> <p>△書く活動を行うときに「はじめ・中・終わり」を意識させ、作文の発表を行うことによって友達の発表からよい書き方を学ばせていく。</p> <p>△定期的に日記を書くようにさせ、書く経験を積ませていく。</p> <p>△日記を活用し、事実と思ったことを順序立てて書き表せるように指導する。</p> <p>△文章全体の段落を意識させ、モデル文をきちんと提示し、そこでの「書くこと」の基礎・基本を学習してから書く活動に入る。</p> <p>△事前を書くことの概略を考え、段落構成も含めてメモする習慣をつける。</p> <p>△書く機会を多くもち、特に一文が長すぎないこと、主語と述語が一致しているかに気を付けることの確認を繰り返し行わせる。</p>
<p>国語「話すこと」「聞くこと」</p>	<p>△対話や少人数グループでの活動を工夫し、話すこと・聞くことの力を育成する。</p> <p>△スピーチや友だちとの交流の場面を増やす。話を聞く学習において、話し手に注目して話を聞くことや、姿勢などに気を付けさせる。また、国語以外の学習活動においても、しっかり聞くことの大切さを指導していく。</p> <p>△話し合いや発表の機会を多く設け、伝えることや聞くことの意識を高めさせる。</p> <p>△連絡帳を書く時など、聞き取りで書かせ、日々の聞く練習を積み重ねる。</p> <p>△一分間スピーチを継続して行い、話すこと、聞くことの練習をしていく。</p> <p>△図書の時間の始めに、クイズなども混ぜながら読み聞かせを行っていく。</p> <p>△学習規律の徹底を図り、聞く態度の改善を図る。</p> <p>△スピーチ等では原稿ではなく要旨をまとめさせ、話の中心を話し手に意識させる。聞く側には、話し終わった後の確認作業等を取り入れ、意識付けを行う。</p> <p>△どの領域でも自分の考えを「話す」機会を設けていく。またその考えについての自分の考えを書かせることで、「聞く」力を定着させていく。</p> <p>△朝の会や帰りの会で1分間スピーチの時間を作り、日常的に話すこと・聞くことの活動を取り入れ、話題の中心を捉えさせる。</p>
<p>国語「読むこと」</p>	<p>△文章構成が理解しやすいような板書案の作成を事前に行い、指導に活用する。</p> <p>△朝の読書活動の時間の他、国語の読みのはじめに、10分間の読書活動を入れる。</p> <p>△心情理解のためにサイドラインを取り入れ、変化を読み取らせる。説明文では、要点を付箋に記入し整理していく。また、交流することにより、理解の共有化を図る。</p>

算数「数学的な考え方」を高める指導	<p>△問題解決学習の時間を重視し、問題を自分で考える、グループで話し合う、全体で学び合う学習活動の定着を図る。(特に、図形、数量関係)</p> <p>△問題解決学習の時間を重視し問題を自分で考える時間を毎時間設け、多様な考え方を提示していくなどし、考えの幅を広げさせていく。</p> <p>△学習課題を多面的に捉える学習指導の工夫を行い、数学的な考え方を養う。</p> <p>△問題解決学習を重視し、単元計画を立てる、考える時間の確保等を行い、少人数指導の充実を図る。</p> <p>△文章に表されていることを数直線に表すことを繰り返し行い、根拠をもって立式できるようにする。</p> <p>△自分で考えたことを黒板に書きながら友達に発表する機会を多くとり、自分の意見を言葉で表す活動を積極的に行う。</p> <p>△問題解決学習の時間を重視し、問題を自分で考える、グループで話し合う、全体で学び合う学習活動の定着を図る。(特に、図形、数量関係)</p> <p>△一人一人が考えを持てるように、既習事項を毎時間振り返り活用していく。また、考えをグループで話し合わせることにより、別の方法に気付かせていく。</p> <p>△文章問題から、数直線やテープ図、表に表すことで立式の根拠を明確にできるように指導する。・児童が考えた課題解決の方法について、他の児童が説明したり、児童同士で課題解決の方法を考えたりする時間を重視する。</p>
算数「技能、知識理解」に関する指導	<p>△習熟度に応じた指導を工夫する。教材として、具体物を多く活用する。基礎的・基本的な学習内容の定着を図るために、検定制度を導入する。</p> <p>△覚えることがしっかりと覚えられるように、繰り返しを多くする。補充問題を用意し、理解できているかを確認する。</p> <p>△解き方や作図の仕方をきちんと理解させ定着を図る。</p>
社会「関心・意欲・態度」	<p>△ヒントカードや、習熟度に応じた資料の提示などを工夫し、下位の児童が資料を読み取りやすくし、自信をもって考えをまとめたり、発表できたりするようにする。</p>
社会「資料活用」	<p>△資料の読み取り方について丁寧に指導するとともに、読み取ったことから、どのようなことが分かるかを話し合う場面を多く設定する。</p>
理科「課題設定」	<p>△興味・関心を引きつける提示やずれ、知的好奇心を揺さぶるような課題設定を行うようにする。</p>
理科「科学的思考の育成」	<p>△科学的思考を育成するために、比較や関連付けをするサインの視点を明確にして、予想や仮説を振り返りながら活動できるようなノート指導を行う。</p>
理科「生物・植物分野」	<p>△実際に、生き物、植物に触れる場面を多く設定するとともに、写真や映像資料などを活用し、理解を深められるような教材・教具の開発を行う。</p>
音楽	<p>△遊び感覚で取り組めるものなど、楽しんでできる常時活動を取り入れていく。</p> <p>△幾つかの例を提示し、その中から選ばせるなどの経験を重ね、深め方を習得させていく。</p> <p>△短い時間でできる常時活動を充実させ、楽しみながら集中力を保って学習できるようにする。</p> <p>△体を動かす活動を通して、リズムにのる楽しさや、友達と合わせる心地よさを味わえるようにする。</p> <p>△ポイントを絞って指導し、児童同士でも互いに評価し、高め合えるような場面を意識して設定する。</p> <p>△「聴く」ときのルールや合図を明確にし、音楽に静かに耳を傾ける経験を増やしていく。</p>
図工	<p>△1題材の「ねらい」と作成の流れを明確にし、全体の見通しをもたせる。</p> <p>△鑑賞の時間を設け、自分や他社の作品のよさや面白さを見つけ、考えられる能力を高める。</p>
発問の工夫	<p>△考える力をつけるために、考える内容を明確にし、補助発問の工夫を行う。</p>
評価活動の工夫	<p>○学習力サポートテスト等の結果を踏まえ、児童の学習定着状況を把握し、指導の工夫に努めるとともに、単元の評価規準を基に、毎時間の評価規準、評価方法及び評価規準を達成するための手だて、既に評価規準を達成している児童への手だてを明確にし、指導と評価と支援の一体化に努める。</p> <p>○学校評価ならびに、保護者・児童のアンケート、学校関係者評価委員会等の評価を分析し、指導に生かす。</p>

家庭や地域との連携の工夫	<p>○家庭学習を充実させ、基礎・基本の充実を図る。児童の学習や生活の習慣形成が図れるよう、学校と家庭が同一歩調で指導にあたる。そのために、家庭に対して、学校便りをはじめとした学年・学級便り等の情報発信を行うとともに、人材を活用したり、自然・社会体験への協力を得たりして、親密な関係作りに努める。</p> <p>○サマースクールや休み時間等において、個別指導の時間を確保し、基礎・基本の徹底を図る。</p>
検証方法	<p>○各単元のまとめのテスト、学期末のまとめのテスト、小テストや学習中の姿から見取る。</p> <p>○算数では、年3回東京ベーシックドリルの診断テストを行い、個々の習熟状況を把握し、指導・支援を行う。</p> <p>○特に支援が必要な児童に対しては、個別支援計画を作成し、計画に沿って指導・評価・支援する。</p>

【学力向上を支えるその他の取組】

○週2回朝15分間設定されている朝学習における読書の実施・計算や漢字等の練習の充実

- ・金曜日は、読書の時間を確保し、朝読書を奨励する。
- ・火曜日は、計算プリント、計算ドリル、ベーシックドリルの活用、漢字ドリル、音読練習を行い、基礎・基本の定着を図る。